



おうち  
CAMP



令和6年1月1日に発生した能登半島地震。

改めて備えの大切さを実感したのではないのでしょうか。

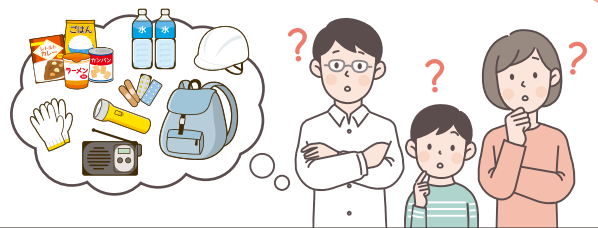
本市職員も、被災地へ支援に入りました。被災地派遣に行く時は自給自足が大原則。必要と思うものは人によって差があり、職員が持ち込んだものも人それぞれでした。

各家庭においても、必要なものはそれぞれ違います。自分が生活する中で必要なものをイメージしておきましょう。

あってよかった物は、「甘いもの」や「温かい飲み物」。平時も災害時も、一日の中で、一息つける時間を作ることが大切です。

### ～これからの防災を考える～

「無理なく・無駄なく備える」ことで防災も持続可能な取組となります。また、平時と有事をわけず(フェーズフリー)普段使うもの、消費するものを見直すことにより、平時にも役たち有事にも備える事ができ、生活の質も向上するのではないのでしょうか。



## ■ トイレの備蓄は必須～備蓄と使用後の対策も～

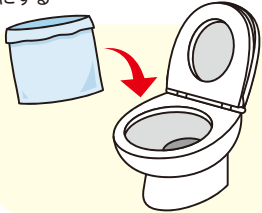
もし被災した場合、まずは自宅での避難生活を基本に準備しておく必要があります。トイレは断水のため、使えなくなることを前提に、携帯トイレを一人1日5回分×家族分×7日分を用意しておきましょう。

### 携帯トイレの使用方法

1

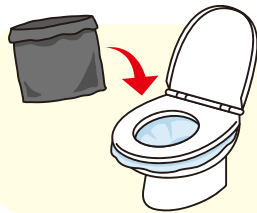
便座を上げ、  
ポリ袋をセットする

※便器内の消臭用封水トラップの水に携帯トイレの袋が触れないようにする



2

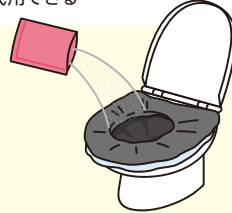
携帯トイレの袋を  
便座の上からカバーをする  
ようにセットする



3

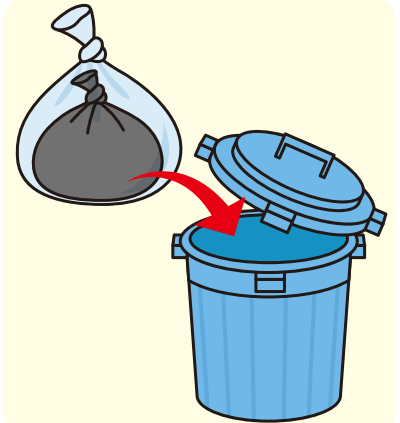
使用後に凝固剤を  
上から振りかける

※凝固剤は、新聞紙を細かくちぎったものや、ペットシート、オムツでも代用できる



4

使用後の携帯トイレ袋は、中の空気をしっかりと抜き、二重袋にし、結んで普通ごみとして出す。  
収集が始まるまでは、ベランダなどで一時保管をする



携帯トイレにもサイズや種類が色々あるのは知っていますか。

手で持って使うタイプや便器に被せて使うタイプなど、買う前に確認も必要ですが、買った後、一回は開封して確認しておくことが必要かもしれません。実際、使えると思っていたものが使えずに役に立たないと大変なことに。

また、ごみの回収もすぐには始まりません。使用後の携帯トイレを一定期間、溜めておく場所を考えておくことも必要です。夏場は特に臭い対策も重要です。

### フェーズフリー

## 備えない防災

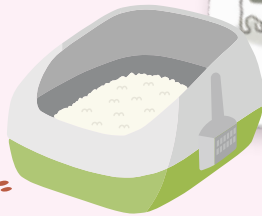
### ■ フェーズフリーのすすめ

#### あなたの大切なペットの防災

災害発生時、ペットも間違いなく危険にさらされます。大切なペットのためにどんな対策が必要でしょうか。川崎市では、「ペットの飼い主のための防災手帳」を配布しています。ペットは飼い主さんがいないと生きていくことができません。安全に避難するには、日ごろからのしつけや信頼関係が重要になります。ぜひ、あなたとペットの防災を考えてみてください。



ペットの  
トイレ砂は  
ビニール袋があれば  
人も使えます



WEB版は  
こちら



### 災害時に役立つ情報が満載! 「備える。かわさきマガジン(特別号)」

3月を迎え、卒業・入学シーズンが到来します。新生活を送るために引っ越しをされる方もいるかもしれません。川崎市では、転入される方向けに「備える。かわさき(特別号)」を発行し、区役所で配布しています。日ごろから災害時に役立つ情報を掲載していますので、ぜひ手に取ってみてください。

防災ポータルサイト



#### 備える。かわさきマガジン

発行：川崎市危機管理本部危機管理部  
☎ 044-200-2894  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
編集：株式会社押田印刷

本マガジンHPはこちら



公式SNS  
フォローしてね!  
X(旧Twitter) ▶  
@Kawasaki\_bousai

